

精神障害者地域移行・地域定着推進事業について

1 保健、医療、福祉関係者による協議の場について

(1) 愛知県精神障害者地域移行・地域定着推進協議会

① 概要

平成 29 年度より、本県における精神障害者の地域移行及び地域定着支援に向けた協議を行うために設置。構成員は 12 名で、学識経験者、保健医療福祉の事業従事者、家族、当事者等で構成。

② 令和元年度実績

ア 開催日

令和元年 10 月 21 日 (月)

イ 議題

- ・愛知県における地域移行・地域定着の状況及び取組について
- ・関係機関の取組について

2 地域移行支援に係る研修

(1) 概要

精神保健福祉センターにおいて、コア機関チーム養成を目的とした「コア機関チーム研修」及び医療と福祉の連携を目的とした「医療・福祉連携合同研修」を実施。

(2) 事業内容

① コア機関チーム研修

開催日：令和元年 12 月 2 日 (月)

内 容：①講義「精神保健福祉資料 (ReMHRAD 等) の使い方と活用」

講師 ころの健康推進室、精神保健福祉センター

②実演「精神保健福祉資料データを読み解く試み—西三河南部西圏域を例に—」

③演習「自圏域の精神保健福祉資料データを読み解く試み」

参加者：29 名 (保健所職員、相談支援事業所職員、市町村担当者、地域アドバイザー)

② 医療・福祉連携合同研修 (予定)

開催日：令和 2 年 2 月 22 日 (土)

内 容：①講義「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」

②報告「愛知県の現状」

③講義「クロザピン治療等最新の精神科医療・薬について」

④医療、保健、福祉各分野からの実践報告

参加者：定員 100 名 (保健所担当者、市町村担当者、相談支援事業所職員、精神科病院職員、地域アドバイザー等)

3 ピアサポーター活動等による地域移行支援事業

(1) 概要

精神障害者が地域で安心して生活できるよう体制を整備するため、当事者の立場から支援にあたるピアサポーターが、病院へ出向いて自らの体験談を話すプログラムを行う。なお、本事業は精神保健福祉士協会への委託により実施している。

(2) 平成30年度実績（カッコ内は平成29年度実績）

- ・実施医療機関 13（10）病院
- ・実施回数 延26（15）回
- ・ピアサポーター従事者数 実33（26）名、延64（42）名
- ・参加者 延600（434）名

【内 訳】

当事者	300（223）名	医 師	9（6）名
看護師	140（76）名	P S W	66（58）名
その他医療機関職員	56（54）名	関係機関	22（16）名
その他	7（1）名		

(3) 令和元年度事業方針

今年度も引き続き、愛知県精神保健福祉士協会へ委託して実施する。

4 ピアサポーター養成について

精神保健福祉センターにおいて、以下の研修を実施。養成研修後、希望者は名簿登録して本事業に従事。

(1) ピアサポーター養成研修

日 時：令和元年8月5日（月）午前10時30分から午後4時45分まで
内 容：①講義「ピアサポーターとは？・支援する際の心得」「ピアサポーターの仕事・活動と働き方」
②報告「愛知県のピアサポーター活動の紹介」
③グループワーク
参加者：63名（当事者21名、支援者40名、当事者かつ支援者2名）

(2) ピアサポーターフォローアップ研修（予定）

開催日：令和2年3月6日（金）
内 容：①講義
②体験談発表
③グループワーク
参加者：60名